

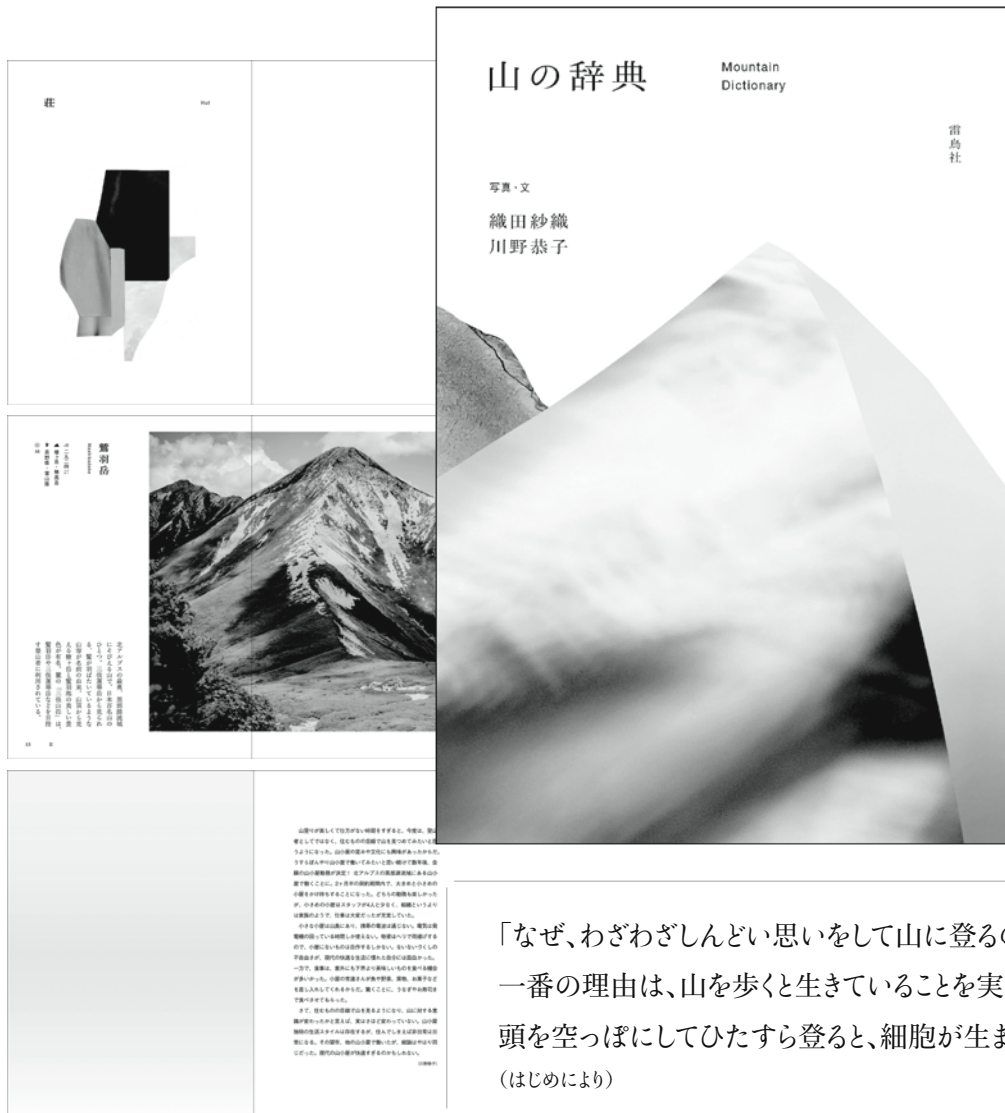
累計30万部超え！
手のひらサイズのビジュアルブック
雷鳥社の「辞典シリーズ」第11弾は「山」！

新刊予約

5月中旬
発売予定

登山・
アウトドア本
ご担当者様

山の辞典



日本は、国土の7割以上が
山地を占める「山国」である。
山を知ることは、自国を知ること。

地形が美しい山(地)、山小屋が魅力的な山(荘)、
花が微笑む山(花)、海が見える山(海)、紅葉が見
事な山(紅)など。本書では「これを楽しむならここ」
という、おすすめの山を10の章に渡って、写真と文
章で紹介しています。
ページの途中には、山にまつわるコラムやメッセ
ージ、山の色々な表情を連想させるアーティスト龍
山千里のコラージュも。すでに登山を楽しんでいる
人も、まだ登ったことがない人も、山の風景にドキ
ドキして、そこにいる自分を想像できる1冊です。

「なぜ、わざわざしんどい思いをして山に登るのか」と、よく聞かれる。
一番の理由は、山を歩くと生きていることを実感できるのだ。
頭を空っぽにしてひたすら登ると、細胞が生まれ変わっていく気がするのだ。
(はじめにより)

注文〆切:5/6(月)

10冊以上のご注文につき、拡材をお送りいたします。

POP A4パネル A5パネル

ご希望の拡材を〇で囲んでください

写真・文: 織田紗織 / 川野恭子 絵(コラージュ): 龍山千里
価格: 1,650円(本体1,500円+税) 仕様: A6判 / 上製 / オールカラー / 320P
ISBN : 978-4-8441-3796-2 C0072

織田紗織(おりた・さおり)

浅草橋の写真アトリエギャラリー「写真企画室ホトリ」を主宰。“写真を形あるものに残そう”をテーマに、写真雑誌制作やワークショップを開催。またギャラリーでも公募写真展を企画するなど、様々な写真イベントの企画活動を行っている。著書に『写真を楽しむ133のネタ帖』『フォトブックレシビ』『写真でつくる雑貨』(雷鳥社)などがある。個人レーベル「mt.souvenir」で「山のおみやげ」をコンセプトに、自ら登った山で見た景色を写真にとじた作品や、オリジナルデザインの山グッズも制作。
好きな山: 白馬岳、立山

川野恭子(かわの・きょうこ)

写真家。日常と山を並行して捉えることにより、自身に潜む遺伝的記憶と死生観の可視化を試みる。撮影、執筆、講師、テレビ出演(NHK「にっぽん百名山」(ほか)など、多岐に渡り活動。Steidl Book Award Japan ロングリストノミネート。京都造形芸術大学(現 京都芸術大学)通信教育部美術科写真コース卒業。著書に『山を探す』(リプロアルテ)、『When an apple fell, the god died』(私家版)、『いちばんいいねいであまりやすい はじめのデジタル一眼 撮り方超入門』(成美堂出版)などがある。
好きな山: 黒部源流、尾瀬

新刊委託

帳合・貴店名

ご担当者名

雷鳥社
RAICHOSHA

FAX 03-5303-9567 ※おかけ間違いにご注意ください。

〒167-0043 東京都杉並区上荻2-4-12 TEL 03-5303-9766

MAIL info@raichosha.co.jp

冊